

2021年8月31日

1. 基本情報

- (1) 国名：ソロモン諸島
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：マライタ州都アウキ市
- (3) 案件名：キルフィ病院整備計画(The Project for Improvement of Kilu'ufi Hospital)
- (4) 計画の要約：本計画は、ソロモン諸島マライタ州都アウキ市において、既存のキルフィ病院を移転・新設し、医療機材等を整備することにより、同病院の機能改善及び拡充を図り、同国における保健医療サービスの向上に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

日本は、ソロモン諸島独立前の1977年に当国に対する経済協力を開始して以来、1998年末から激化した部族間対立により治安が悪化したことから二国間援助を一時停止し、抗争が終結した2004年に再開するまでの間を除いて、これまで、無償資金協力や技術協力を通じ、主要ドナー国として当国の開発に大きく寄与している。ソロモン諸島は、こうした日本の協力を評価し、国際場裡において日本の立場を一貫して支持してきている。更に、日本漁船が当国の排他的経済水域（EEZ）で操業しており、日本にとって当国との漁業協力は極めて重要である。ソロモン諸島の自立的・持続的な発展を後押しすることは、当国との二国間関係強化のみならず、地域における日本の影響力拡大にとっても重要である。

我が国は、2018年開催の第8回太平洋・島サミットで「強靱かつ持続可能な発展の基盤強化」を支援の柱として表明しており、本計画は当該方針に合致する。また第9回太平洋・島サミットにおいても、引き続き重要なテーマとなる。また、対ソロモン諸島国別開発協力方針（2019年4月）の基本方針では、「保健医療・衛生施設の改善、感染症・非感染性疾患（NCD）に関する保健医療従事者の育成、公衆衛生啓発活動等、地域医療サービスの質の向上についての支援」を行うとしており、本計画は、これら方針に合致する。さらに、ソロモン諸島政府からも、キルフィ病院の改修については、未解決の課題であり、重要であるとの要請が接到している。

本計画は、当国の保健医療体制を強化し、自立的・持続的な発展の後押しと二国間関係の強化を図るため、本計画を実施する意義は大きい。

- (2) 当該国における保健医療セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ソロモン諸島は太平洋上に位置する島嶼国で、人口65.3万人、面積28,900 km²、一人当たり国民総所得2,000米ドル（2018年、世界銀行）の低中所得国に該当するが、経済協力開発機構の開発援助委員会が定める所得階層区分では後発開発途上国に

位置付けられる（2021年）。1999～2003年に首都で発生した部族紛争による社会情勢の悪化は援助関係者の国外退避による保健医療プログラムの停止や予算措置の機能不全を招き、その後の自然災害（2007年地震・津波、2014年サイクロン）による被害も保健医療セクターの発展を妨げる要因の一部となり、同セクターは予算・人材不足、施設老朽化等の問題を抱えている。世界保健機関（WHO）が推計する持続可能な開発目標（SDGs）達成に必要な保健医療人材が人口千人当たり4.45人であるのに対し当国では同2.36人と低い（2018年、WHO）。

当国「開発戦略（2016-2035年）」は質の高い保健医療サービス提供を優先課題として、老朽化した地方病院再建の必要性を明記し、「保健戦略計画（2016-2021年）」では地域保健体制の強化による健康増進と予防強化、保健医療サービスの面・質的拡充を重点課題とし、当国最大の人口（2019年現在約17万人）を擁するマライタ州（以下、「同州」という。）にあるキルフィ病院（以下、「当病院」という。）を再建優先度の高い病院としている。保健医療サービス省はユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成のための「役割分担方針」（2018年）を策定し、全国の保健医療施設を地方保健施設（レベル1）、域内保健施設（レベル2）、地方総合病院（レベル3）、国立中央病院（レベル4）に四分類している。当病院は首都の国立中央病院に次ぎ二番目に大きく（病床数128）、同州を対象に主な外科等手術に対応する地方総合病院（レベル3）である。1967年の設立以来、WHO等の支援や当国政府予算による小規模な増築・修復を繰り返してきたが、院内の動線が非機能的で患者の円滑な移動に支障を来している。また、同州の人口増加や非感染性疾患の増加による患者増に伴うスペース不足、人材・設備不足や新型コロナウイルス感染防止対策導入等の課題を抱え、同州の診療需要に対応できていない状況であり、また当病院で対応できず国立中央病院に移送せざるを得ない事態も発生している。加えて、手術室設備や機材の老朽化が進み、臨床検査機器（生化学、血清学、微生物学）と現在市販されている試薬との互換性がないためラボサービスの提供ができない等の問題が顕在化している。また、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当国政府は厳しい入国制限措置を講じ感染抑制を図り、市中感染は起きていない。新型コロナウイルスを含む感染症については全ての病院で軽度・中程度の症例を扱うこととされており、当病院では加えて重度の症例に対応することが求められている。キルフィ病院整備計画は、当病院を同州政府が保有する隣接地に移転・新設して必要な機材を整備し、地方総合病院（レベル3）としての機能を改善・拡充することで、同州に提供される保健医療サービスの向上を図るもので、当国保健戦略計画においても優先度の高い計画として位置づけられている。なお、キルフィ病院は、当国医療従事者の人材育成拠点としての役割も期待されており、協力準備調査において、先方政府の医療人材の育成計画を確認するとともに、今後本計画と連携し、当病院に対して、形成中の広域技術協力における地域研修や、ボランティア派遣により、人材育成支援を行う予定である。

対ソロモン諸島国別開発協力方針（2019年4月）は保健医療・衛生施設の改善を含む「脆弱性の克服」を重点分野として挙げており、保健医療サービスの改善・拡充を図る本計画はこの方針に合致する。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容（施設・機材の一部移設による再利用の可能性及び先方負担事項（建設予定地における地中埋設物の撤去、新設後の現有機器の移設・設置、新施設利用開始後の既存施設解体等）について詳細は協力準備調査にて確認）

ア) 施設・機材等の内容

【施設】本館（約 4,500 m²）：事務局、外来、薬局、理学療法室、医療画像処理室、研究室、手術室、中央滅菌室、病棟（150 床）、薬品庫、訓練室等

【機材】外来診察用機材、入院患者用機材、診断機材、その他（会議室用機材、焼却炉等）

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工監理、機材及び施設維持管理等技術指導

② 期待される開発効果

病院施設・機材の機能改善・拡充による保健医療サービスの質の向上（外来患者数：13,397 件／年（2019 年実績値）→16,150 件／年（計画完成 3 年後目標値）、手術件数：873 件／年（2019 年実績値）→1,500 件（計画完成 3 年後目標値）、X 線画像/超音波による診断件数：4,204 件／年（2019 年実績値）→6,065 件／年（計画完成 3 年後目標値））が期待される。対象となるマライタ州人口のうち当病院へのアクセスが可能な人口は約 14 万人。

③ 計画実施機関：保健医療サービス省

他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて確認する。

④ 運営／維持管理体制：マライタ州保健局が運営し、新たに設置される維持管理部署が本事業の維持管理を担う予定。協力準備調査にて雇用計画等詳細を確認する。

(2) その他特記事項

・ 環境社会配慮カテゴリ分類：C

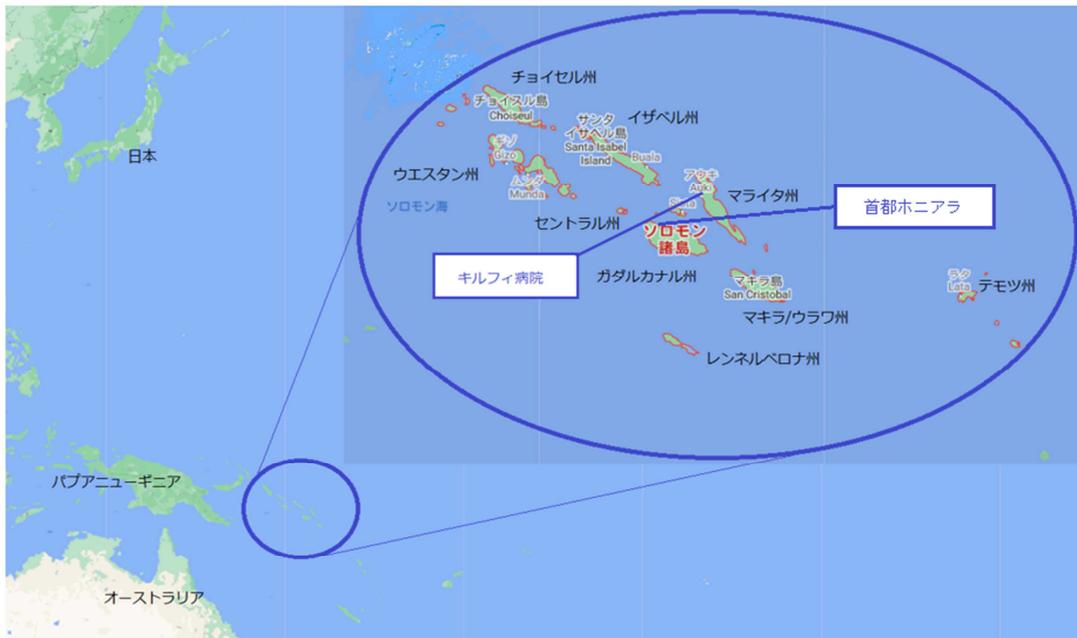
・ ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

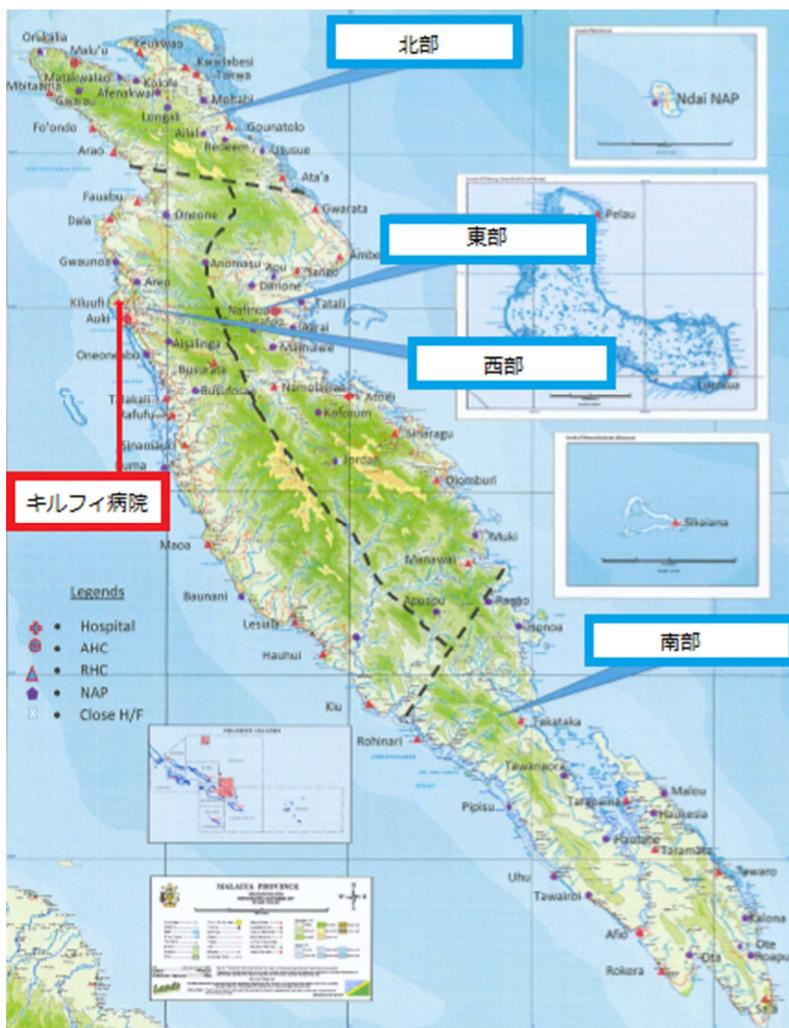
バヌアツ向け無償資金協力「ビラ中央病院改善計画」の評価等では自然災害を考慮した設計により超大型サイクロン襲来時に速やかに医療を再開できたとの教訓を得ており、調査にて当国で発生し得る自然災害（地震、津波、集中豪雨、洪水）を想定した仕様とすることを確認する。ソロモン向け無償資金協力「ギゾ病院再建計画」の評価等では、①患者動線に配慮したトイレの配置、②省電力に配慮した設計、③アクセス手段及び実際のアクセス状況に留意した受益人数の設定による施設設計・人員配置の必要性に係る教訓を得ており調査にて確認する。

以上

[別添資料] 地図



(出典 : Google map を加工)



(出典 : ソロモン諸島 土地・住宅・調査省 全国地理情報センター)

[別添資料] 写真



(キルフィ病院外観 (JICA 撮影))



(キルフィ病院内 (キルフィ病院提供))